

ICIS 2017 International Meeting in Seoul

大串葉子（おおぐし ようこ）
椋山女学園大学

1. はじめに

2017年12月10日（日）～13日（水）の4日間にわたり、韓国の首都ソウルのCOEX CONVENTION CENTERにおいて、ICIS (International Conference of Information Systems) 2017が開催されました。JASMINの皆様には周知のとおり、ICISはAIS (Association of Information Systems) が主催する情報システムの世界最大規模の国際会議です。また、2008年以来、ICISの併設会議として開催されているJPAIS (Japan Association of Information Systems) /JASMIN International Meetingも、12月10日（日）の午後、ICIS会場内の会議室にて開催されました。

ソウルは、ICIS後すぐに冬季オリンピックの開催を控えていましたので、華やかなムード一色で空港や街中は相当混んでいることを覚悟していましたが、日中でも摂氏マイナス17度という厳冬期のせいか、厚い上着を着込んだ人たちがまばらに、足早に歩いている風景が印象的でした。本稿では、ICIS 2017の概要とともに、筆者がICIS 2017で経験した2つのビックリを交えて報告致します。

2. ICIS 2017

ICIS 2017は、ソウルの三成駅直結のCOEXにて行われました。すぐそばにサムソン本社があり、韓国の富裕層が居住する地区として有名な場所です。COEXはショッピングモールやホテルを含む広大な敷地内にあり、駅から会議場に向かう途中、何度も道を聞かないと辿り着けないほどでした。

今回の大会テーマは、「Transforming Society with Digital Innovation」。国際的なIT企業が多数本社を構える韓国ということもあり、会場内には、協賛企業の出展ブースが多数設けられていました。ICIS

の慣例通り、初日の12月10日の午後6時半からWelcome Reception（参加者を歓迎して開催される、軽食付きの立食パーティー）が開かれました。第2日目の11日の午前中は、情報システム分野において顕著な業績を残した個人に与えられるLEO Awards等をはじめ、各種授賞式がありました。さらに、KAKAO（カカオ）でCEOを務めるJi-Hoon Rim氏による基調講演（Keynote Address）が行われました。カカオは、韓国発のスマートフォン向けチャットアプリ「カカオトーク」を運営している企業です。講演では、創業者の生い立ちから起業、そして現在に至るまでの軽妙なトークの後、最近は

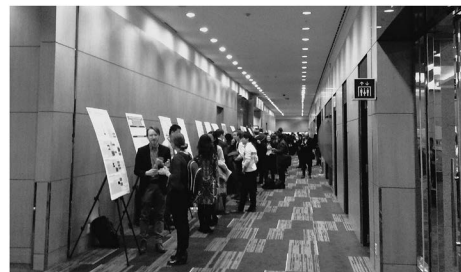


写真1 ポスターセッション



写真2 セッション

AI (Artificial Intelligence) を用いたプラットフォーム構築に尽力していることなどが語られました。その後、ポスターセッションやパラレルセッションが開始され、最終日の14日の午後4時すぎまで、熱いプレゼンテーションと討論が繰り広げられていました。詳しいプログラム内容は、大会のWebサイトに記載されていますのでご参照ください^[1]。

3. ICISでの2つのビックリ

今回のICISで著者は2つのビックリに遭遇しました。まず、1つめは受付での出来事です。早期受付 (Early Bird) で相当前に申込みと支払いを済ませていたので、受付は名乗るだけで終了する予定でした。しかし、「あなたは名簿に名前が無いので、システムからログインしてみてください」と要求されてしまいます。「え〜、早く済ませないと JPAIS/JASMIN International Meeting に遅れてしまう…」と焦りながらログインすると、「バランスが取れていないね」と指摘されました。つまり、申込みは済んでいるが入金がまだなので名簿に名前が掲載されていなかったということが判明しました。「そういえば、申し込んだ当日は財布を忘れていて、決済を後まわしにしたのだった」というおぼろげな記憶がよみがえってきました。「ああ、当日料金 (On Sight) か〜」と悲しんでいると、受付の方が「あなたの所属大学が入金するのを忘れたんだね」と善意に解釈してくれ、早期受付料金のままで決済してくれました (この対応は、たまたまということも考えられますので、どうぞ真似しないでください)。

2つめのビックリは、会場でのランチタイムの際、誰も知らないテーブルに座ったときのことで、円卓だったのですが、2つのグループの間に座ったらしく、ランチ開始当初はまったく会話に入れない状態でした。仕方なく食べることに専念していると、メイン料理の注文をきっかけに隣席の男性と会話が始まりました。最初は、寒すぎる気温について、そして現在の研究内容や面白かったセッションについて話しているうちにあっという間に時が過ぎ、食事が終わるころには「サバティカルの際はぜひ私の大学に滞在しなさい」とイリノイ大学の名刺を頂きました。「ランチで次のサバティカルの行先が得られ



写真3 ランチタイム

るなんて…」 「幸運はどこに転がっているか分からないものだ」と、とても驚きました。サバティカルの予定がある人は、国際学会に参加して、食事のときに誰も知らない席に座ることをお勧めします。

4. おわりに

いよいよ、JASMIN 主催の PACIS (Pacific Asia Conference on Information Systems) 2018 開催が迫っています。これから急速に進む人口減少を鑑みても、国際学会でのプレゼンスは非常に重要となってくるでしょう。ICIS 2017では多くの韓国人研究者が学会運営の中核を担っていましたし、多くの中国人研究者の姿がありました。日本も、PACIS 2018を皮切りに、AIS主催の学会への参加者数や発表者数を増やす必要があります。近い将来、ICISの開催国となるためにも、JASMIN 会員の大量参加による PACIS2018の成功を願っています。

参考資料

[1] ICIS 2017, <http://icis2017.aisnet.org>

略歴

大串葉子 (おおぐし ようこ)

2000年九州大学経済学研究院博士後期課程修了。博士 (経済学, 2000年九州大学)。2001年新潟大学経済学部准教授, 2018年より現職。